白根地区

～貴重な町屋群が残る 凧合戦のまち～

モデルコース紹介

所要時間：1 時間～1.5 時間
距離　　：約 1.8km

ガイドさん おすすめ！

まちなかの案内標識を探してみよう！

白根商店街には、しろね大凧タウンガイドが整備を行った案内標識が53枚設置されている（※）。案内標識には、まち歩きの見どころが写真・図柄付きで詳しく解説されているため、ガイド無しでもまち歩きを楽しむことができる。また、その地域がどこの大凧組に属しているかを凧組の絵柄で表示しているため、凧合戦が開催されていない時でも凧を身近に感じながらまち歩きをすることができる。

※令和２年12月現在。

ココもおすすめ！ 様々な由来をもつ小路

白根のまちなかには、様々な由来をもつユニークな名前の小路がたくさんある。リオンドール白根店脇にある「トロッコ小路」は、かつて醤油蔵から中ノ口川へ醤油を運ぶトロッコの線路があったことに由来する小路である。そのほかにも、「ダンジロウ小路」や「仙庵小路」など、その土地にゆかりのある人物名が由来となった小路や、「通らん小路」など変わった名前のものも。それぞれの小路には、小路の名前が記された路盤サインが貼ってあるので、自分のお気に入りの小路を探してみるのも面白い。

通らん小路
路盤サイン

NEW

QR 動画

このスポットに注目！

標識看板に貼ってある QR コードを読み取ると、そのスポットに関する動画がご覧になれます。

白根大凧合戦会場 QR 動画

スマホで読み取ってみよう！

毎年６月上旬に開催される白根大凧合戦は、中ノ口川を挟んで、24畳の大凧約 300 枚、六角凧の巻凧約 1200 枚が戦う、世界最大スケールの凧合戦。

※地図は実際の縮尺とは異なります。

地図の見方
順路
案内標識
路盤サイン

まち歩きされる方へ

- 白根の町屋はすべて非公開です。住民のプライバシーにご配慮ください。
- 車でお越しの場合は、ミニパークへ駐車可能です。
- 区バスまちなか循環ルートぐるりん号をご利用の場合は、五の町バス停で降車ください。

スタート地点

QR 動画

1 世界に２つだけのマンホール

凧合戦期間中、このマンホールに支柱を立て、大凧が合戦で綱を引き合う際に、相手に綱を引き取られないように巻きつける。

徒歩５分

QR 動画

2 空屋（そらや）

空き家だった昭和初期建築の旧時計・眼鏡店を再生した建物。ダシアイなどの町屋造りの空間が広がる。※普段は入れません。

徒歩２分

3 白根大火の境界

昭和６年 (1931) 年の白根大火の際、蔵造りであった当時の白根銀行付近で火の手が止まった。境界の南北で幅が異なる歩道が、大火の記憶をとどめる。

徒歩 10 分

4 洪水を止めた米俵

昭和 36 年 (1961) 年の豪雨で旧富月橋付近から越水した際、政府米 439 俵を積んで土のうの代わりにし、白根のまちを洪水から守った。

徒歩 10 分

QR 動画

5 割烹金長

創業は明治中頃。風情ある昔ながらの建物で、白根大火後、創業以来の材料を使って再建され、天井に猫足の装飾を有する大広間など、格調高い造りとなっている。

徒歩３分

QR 動画

6 六斎市

元禄２年（1689 年）に、名主袖山忠兵衛が許可を得て六斎市を開設。この新町通りで、毎月４と９のつく日に開かれている定期朝市。

徒歩５分

QR 動画

7 ヤマキチ醤油跡

江戸時代からの大店で、ヤマキチ様と親しまれていた。かつては、染物業を営み、明治以降はヤマキチ醤油として、醤油と味噌を醸造して販売。1974 年に廃業。現在はリオンドール白根店となっている。

徒歩３分

PHOTO SPOT!!

8 ダンジロウ小路

町屋通りの風情を残す黒壁の小路。旅芸人の団十郎がこの地に住み着き、その姿に憧れた町の人が小路にその名を付けたという。

徒歩５分

QR 動画

9 歴史的な町屋群

昭和初期以前に建築された多くの町屋が残っており、特にこの魚町には「切妻屋根」で「妻入り」の町屋が並び、新潟県内有数の歴史的街並みである。

徒歩５分

QR 動画

10 初代袖山半兵衛重勝の屋敷跡（旧庭幸酒店）

屋敷跡に建つ旧庭幸酒店は、江戸時代から続いていた酒屋で、戦前の面影を残す店舗は白根大火後の建築物であるが、重厚な和風町屋造りは貴重なもの。

ゴール地点

徒歩２分